



No.	評価項目	評価項目の指標	低 級 0ポイント	初 級 1ポイント	発 展 2ポイント	達 成 3ポイント	超 域 4ポイント
1	目標決定	・フライングディスクの射出性能に関して妥当性のある目標をもっていること	・性能目標を定めていない	・1つ以上の項目で定量的でない目標が定まっている	・1つ以上の項目で定量的な目標が定まっている	・1つ以上の項目で実現可能な定量的な目標が定まっている	(審査員の自由記述)
2	テスト方法の妥当性	・動作テストのための手法を学び、活用していること ・定量的な結果が得られる方法でテストを行っていること	・目視レベルのタイム計測をしている	・何らかのテストツールの製作もしくは使用を検討している	・製作もしくは使用したテストツールが適切である	・テスト方法、原理について具体的に記述されており、再現が可能である	(審査員の自由記述)
3	テスト結果の検証の妥当性	・結果のばらつきを適切に処理していること ・評価結果を考察するための手法を学び、活用していること	・結果に対して考察を行っていない	・具体的な数値のない考察を行っている	・数学的手法でテスト結果を処理して考察を行っている	・数学的手法でテスト結果を処理して妥当性のある考察を行っている	(審査員の自由記述)
4	テスト後のアクション	・テスト結果を元に目標達成の改良を行っていること ・目標達成のために開発→テストの開発過程を複数試行している場合は目標に対して試行した回数の妥当性を振り返っていること ・次の開発に活用できる教訓を得られていること	・テスト結果の考察を行っていない	・テスト結果から何らかの改良を行っている	・テスト結果から改良を行い、目標達成ができています ・目標達成までの開発とテストの試行回数について考察ができています	・テスト結果から改良を行い、目標達成ができています ・目標達成までの開発とテストの試行回数について考察ができています ・次の開発に活用できる教訓が得られている	(審査員の自由記述)
5	提出資料の構成力	・提出された資料の内容が論理的に構成されていること	・本文が散発的で、構成が不明瞭	・セクション構成があるが論理展開が弱い	・課題・工夫・成果を明確かつ論理的に展開している	・本文が論理的に展開されたうえで、用語や情報の説明が第三者から見てわかりやすいレベルで整理されている	(審査員の自由記述)
6	視覚資料の有効性	・写真や図表が本文と連携できていること	・写真・図表の視覚的補助がない、もしくは写真・図表があるが本文の理解の助けになっていない	・本文の理解を助ける写真・図表が不足しており、理解しづらい本文が多数ある	・写真・図表が本文の理解を助けているが、写真・図表が不足している本文が一部ある ・図表番号を用いて本文と連携できている	・本文の理解を助ける写真・図表が、あるべき場所すべてに配置されている ・図表番号を用いて本文と連携できている	(審査員の自由記述)